

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

基本理念

システム・プランナーとして流通業及び貿易業の繁栄に貢献し、仕事を通して社員の自己実現を図る

② 中長期の経営戦略

1. 製品開発投資の拡大

オリジナルパッケージ・ソフトウェア及びクラウドサービスの新規開発・機能強化で、高付加価値の競争力高い製品を充実化

2. 新テクノロジー採用

革新的なサービス提供と市場ニーズへの機敏な対応のため、パッケージ・ソフトウェア及びクラウドサービスの技術更新を推進

3. 利用料モデル拡大

保守サポート充実で顧客満足度向上と経営安定化を図り、定常収入が見込まれる事業領域での受注拡大を加速

4. 人材育成・確保

専門性高い人材確保のため、テクニカル・ビジネス・プロジェクトマネジメントスキル教育と新規採用に経営資源を投入

③ 対処すべき課題

① 顧客業界の経営環境悪化

- ・流通業界は円安、光熱費高騰、キャッシュレス手数料増加、賃金上昇でコストアップ
- ・少子高齢化による人手不足解消のためデジタル投資需要が年々高まる
- ・貿易業界は地政学的リスク、インフレ、金融引締めで世界経済が減速

② 業界全体の人材不足

- ・技術力・マネジメント力あるエンジニア人材の深刻な不足
- ・人材の確保と育成が情報サービス業界の重要課題

③ DX需要への対応力強化

- ・先行き不透明な事業環境での顧客デジタル投資需要への迅速な対応体制構築が急務
- ・製品開発投資、新テクノロジー採用、人材育成の施策の確度とスピード向上が必要

面接で使えるポイント

- ・流通業・貿易業への特化とDX推進で、顧客のデジタル投資需要に対応する総合ITベンダーを目指している
- ・オリジナルパッケージ・ソフトウェアとクラウドサービスの開発投資を拡大し、高付加価値製品の競争力を強化
- ・テクニカル・ビジネス・プロジェクトマネジメントスキル教育を通じた人材育成で、顧客課題の的確な提案ができる専門人材を確保

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに
当社及び連結子会社（株式会社サンプランソフト）

主力事業・セグメント

・ 情報・通信業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・ 営業利益率11.8%の安定した収益性

・ 将来性評価は晴れ

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
27億円営業利益率
11.8%財務健康度
57点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 38.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
630万円平均年齢
39.2歳平均勤続
13.4年

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

